

# 令和2年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	34	学校名	十津川高等学校
----	----	-----	---------

1. 取組名 「十津川村交流・活性化プロジェクト」

## 2. 取組概要

- ・木工芸コース3年生「木工芸総合」の授業で作成した行灯の展示会を開催した。
- ・生徒会役員が、十津川村内保育所へクリスマスプレゼントを作成し送付した。

## 3. 特徴

- ・地元の木材を使用して行灯を作成し、校内及び地域交流センター「いこら」で地域の方に向けた展示会を実施した。
- ・例年は十津川村内保育所を訪問し、地域の子供たちと交流を行っていたが、コロナ禍で訪問不可能となったため、クリスマスカードとプレゼントを作成し保育所へ届けた。

## 4. 成果、課題

- ・本校の教育活動を地域の方々にも知っていただく機会となった。コロナ禍で、例年よりも来場者数が減少したので、展示や告知の方法を考える必要がある。
- ・コロナ禍で制限のある生活をしている地域の子供たちに喜んでもらいたいと、目的意識をもって活動に取り組むことができた。生徒と地域の方との直接的な交流の方策を考えていく必要がある。

## 5. 本事業による取組とコミュニティ・スクールの導入・推進との関わり

- ・平成29年度よりCSを導入しており、地域との協力体制を築きつつあり、今後はふるさと共生コースの防災教育等でも地域協働を生かした取り組みを行いたい。
- ・生徒会を中心とした個々の取り組みを整理・集約し、生徒に身に付けさせたい力を明確にし、学びの場面を設定していく必要がある。

